

疾病のスクリーニング検査に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. スクリーニング検査は、疾病の確定診断に用いる。
2. 特異度が高い検査では、疾病のない人が陽性になる確率が高い。
3. 敏感度100%の検査で陽性ならば、その人には確実に疾病があると言える。
4. 検査値が高いと陽性になる検査の場合、カットオフ値を低く設定すると、敏感度は上がる。
5. 陽性反応的中度は、有病率が高い集団では低くなる。

循環器系に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 刺激伝導系において、房室結節がペースメーカーとなる。
2. 僧帽弁は、左心房と左心室の間にある弁である。
3. 動脈には動脈弁があり、血液の逆流を防いでいる。
4. 肺動脈中の血液は、酸素を多く含む動脈血である。
5. ノルアドレナリンは、血圧を低下させる。

令和元年国民健康・栄養調査に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 国民健康・栄養調査は、地域保健法に基づいて実施される。
2. 身体状況調査において、身長と体重は20歳以上が対象である。
3. 6～14歳における肥満度は、学校保健統計調査と同じ方法により求める。
4. 糖尿病が強く疑われる者の判定は、空腹時血糖値と治療の有無により行う。
5. 栄養摂取状況の調査は、不連続の3日間で実施する。